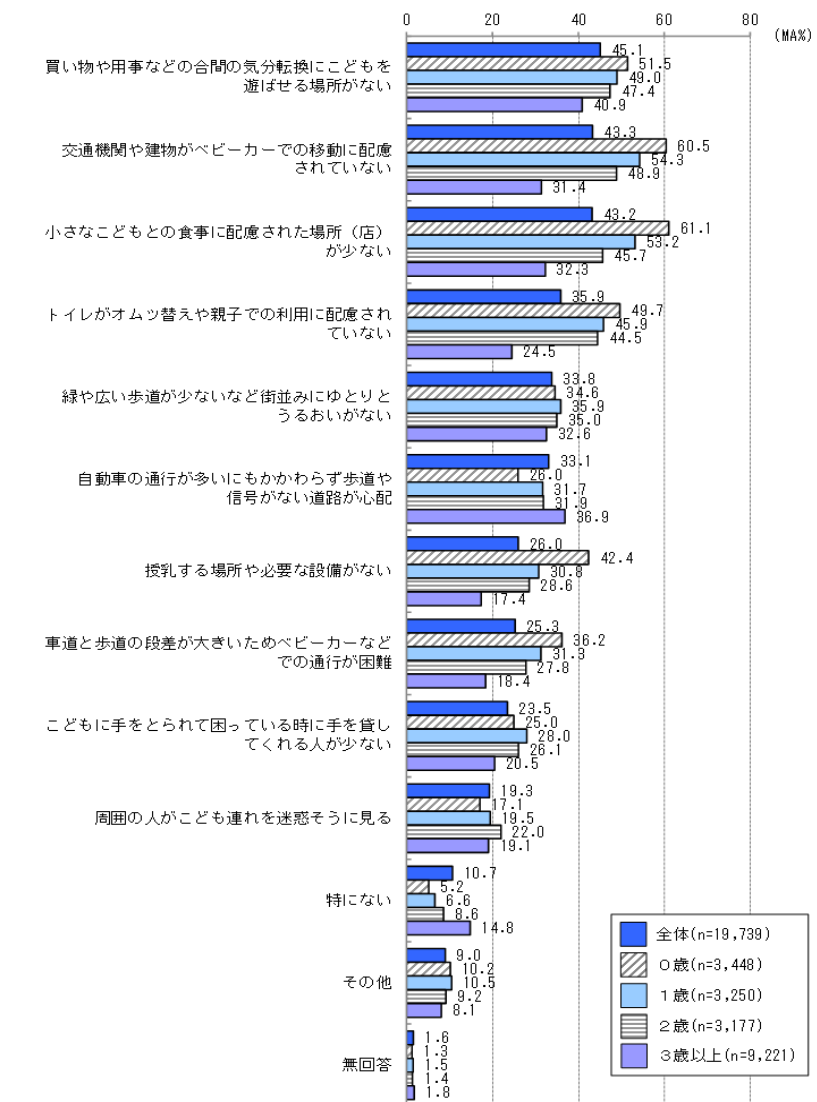
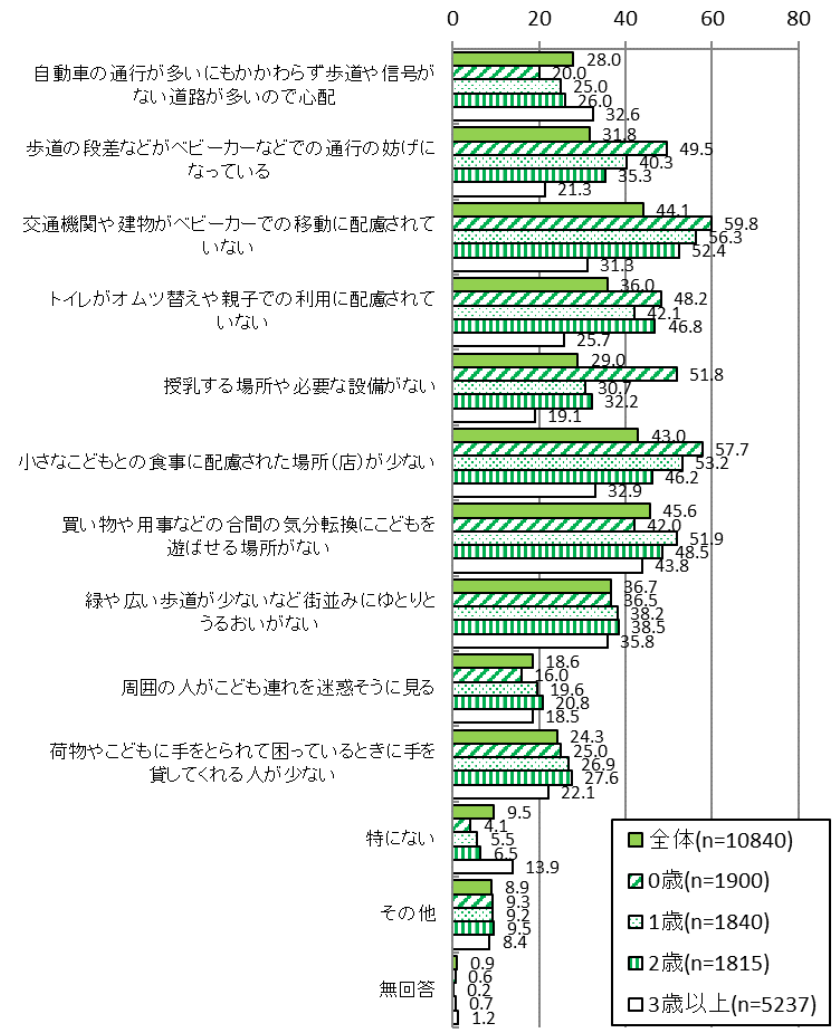


# こどもとの外出時に困ること【問25】

- こどもとの外出時に困ることについては、「買い物や用事などの合間の気分転換にこどもを遊ばせる場所がない」が45.1%で最も多く、次いで「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」が43.3%、「小さなこどもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」が43.2%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、0歳児で「車道と歩道の段差が大きいためベビーカーなどでの通行が困難」（平成25年調査では「歩道の段差などがベビーカーなどでの通行の妨げになっている」）が13.3ポイント、「授乳する場所や必要な設備がない」が9.4ポイント低くなっている。

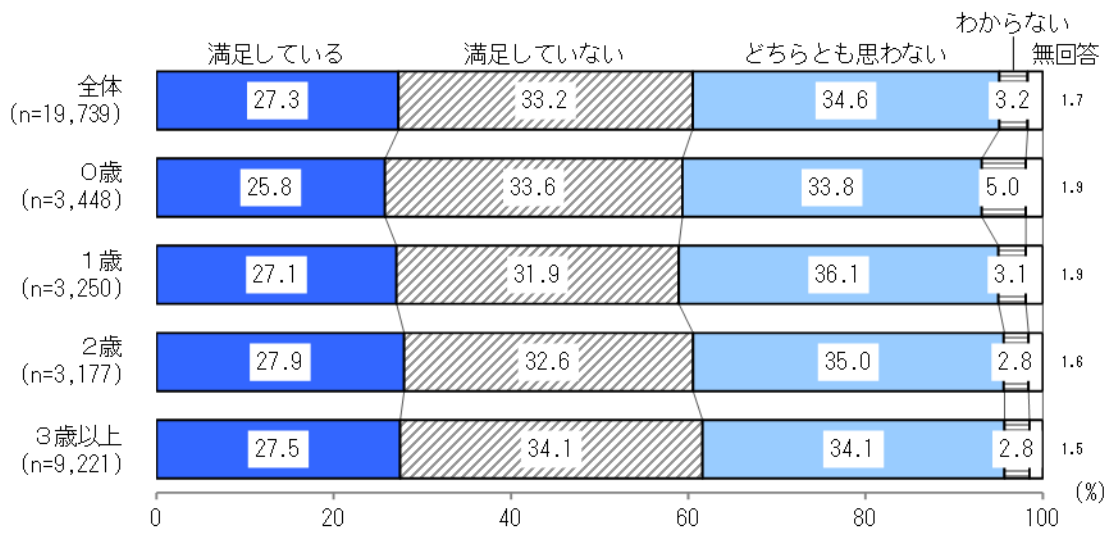


《参考》平成25年調査

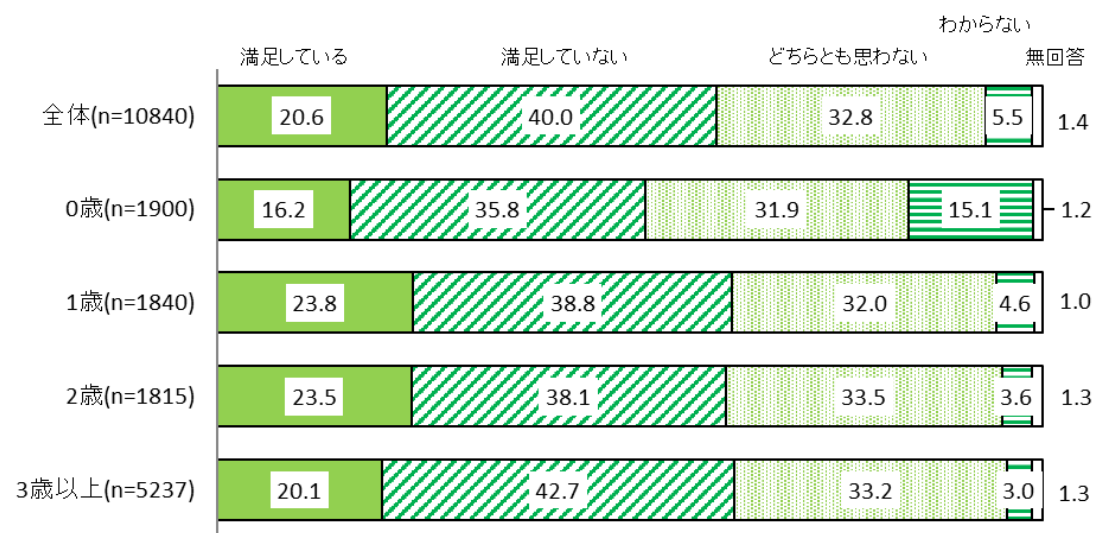


# こどもの遊び場に関する満足度【問26】

- こどもの遊び場に関する満足度については、「満足している」が27.3%、「満足していない」が33.2%となっている。
- こどもの年齢別でも、同様の傾向となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「満足している」が6.7ポイント高くなっている。

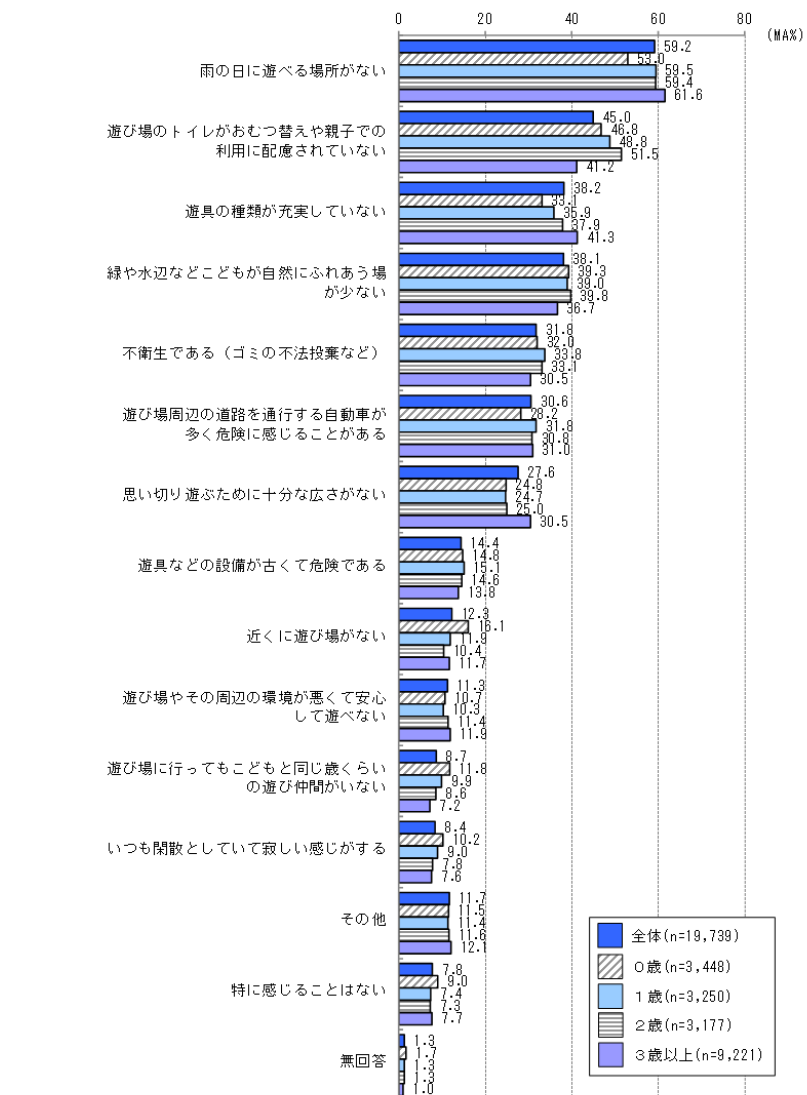


## 《参考》平成25年調査

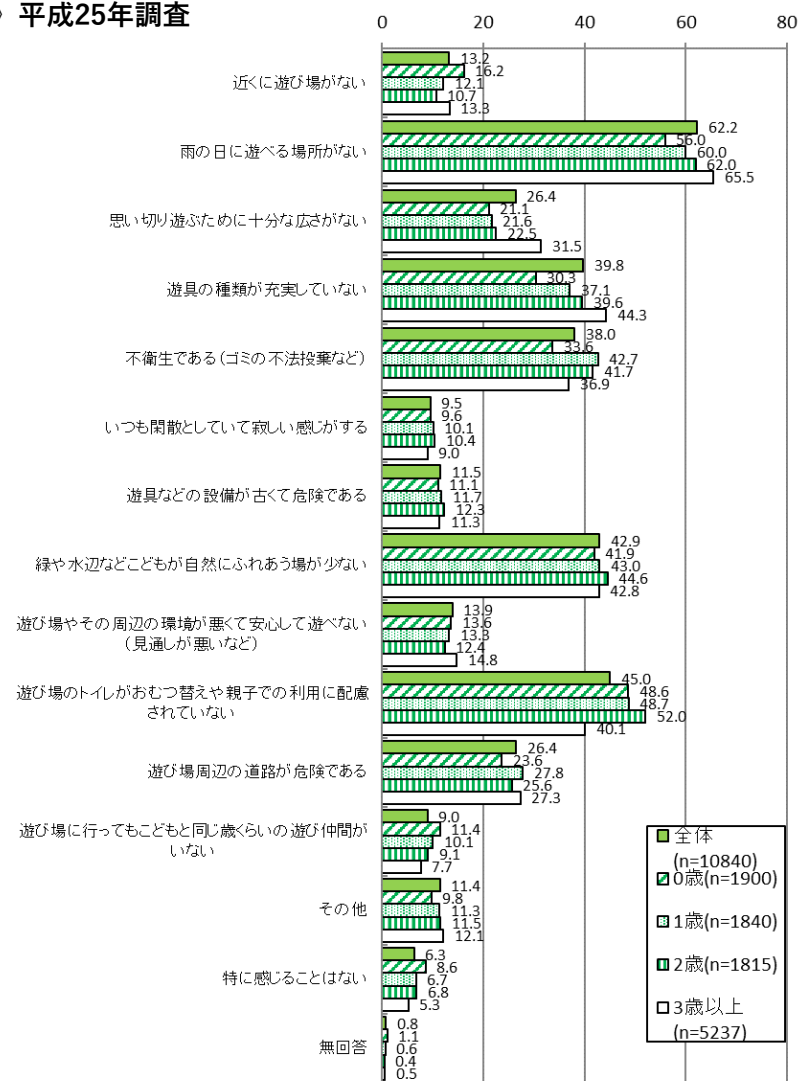


# こどもの遊び場について日ごろ感じること【問27】

- こどもの遊び場を感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が59.2%で最も多く、次いで「遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が45.0%、「遊具の種類が充実していない」が38.2%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「雨の日に遊べる場所がない」、「遊具の種類が充実していない」、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」、「遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない」は3歳以上が最も高くなっている。
- 平成25年調査の結果と同様の傾向である。

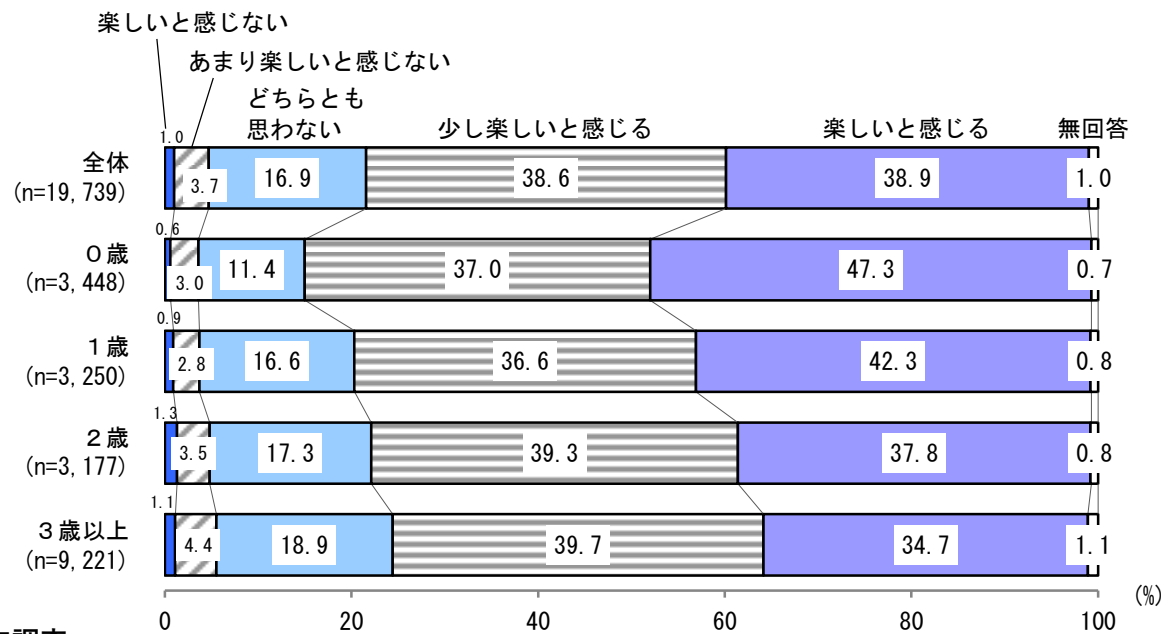


## 《参考》平成25年調査

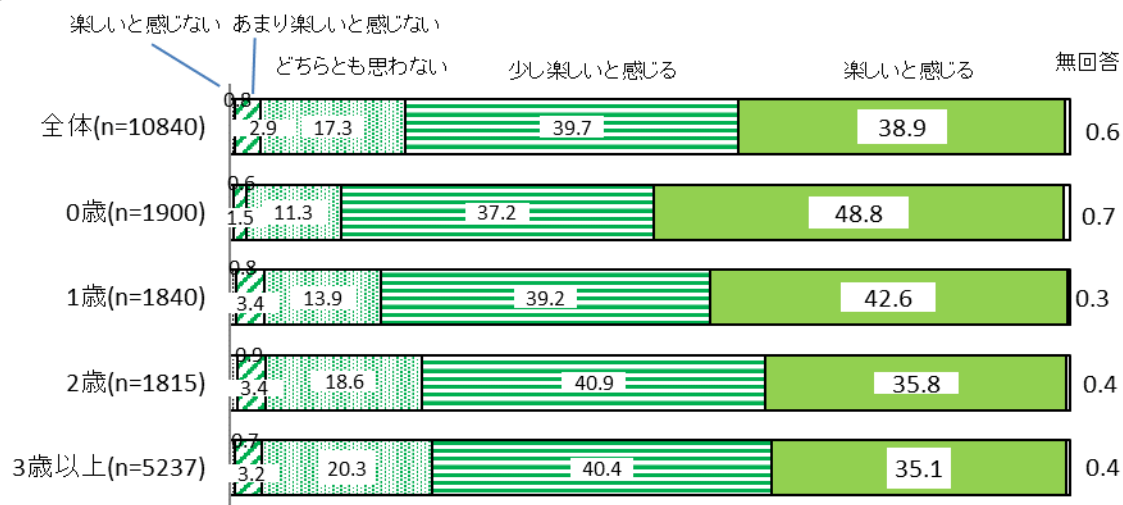


# 子育てを楽しんでいると感じるか【問28A】

- 子育てを楽しんでいると感じるかについては、「楽しいと感じる」が38.9%で最も多く、次いで「少し楽しいと感じる」が38.6%で、両者をあわせた『楽しいと感じる』は77.5%となっている。
- こどもの年齢別でみると、『楽しいと感じる』は0歳（84.3%）が最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。
- 平成25年調査の結果と同様の傾向である。

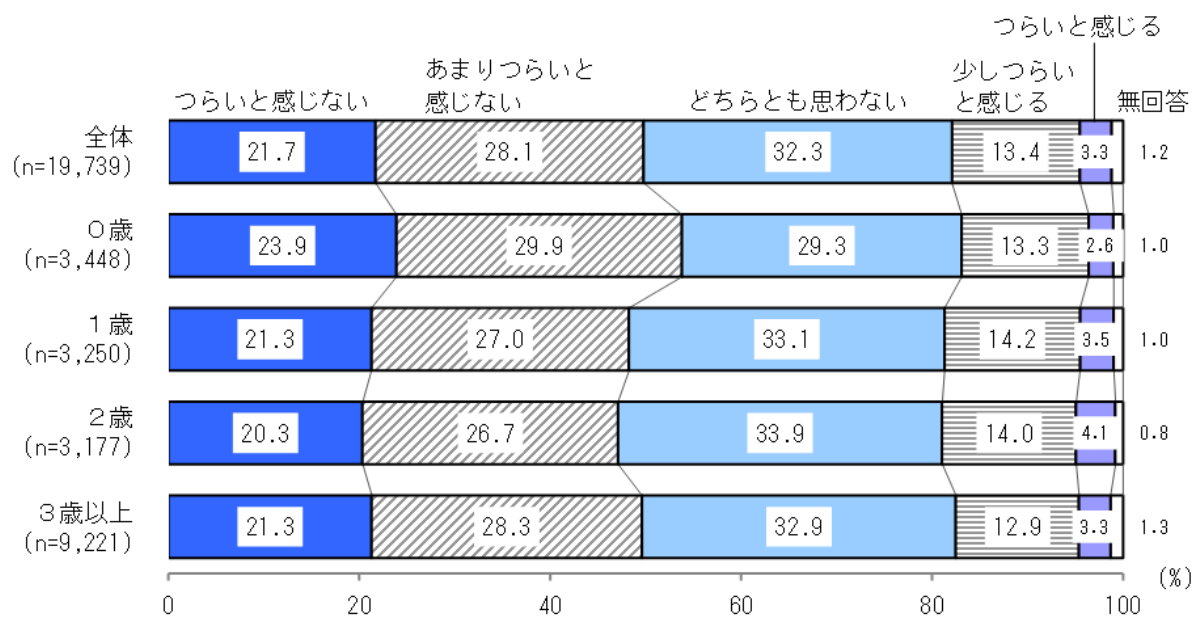


《参考》平成25年調査

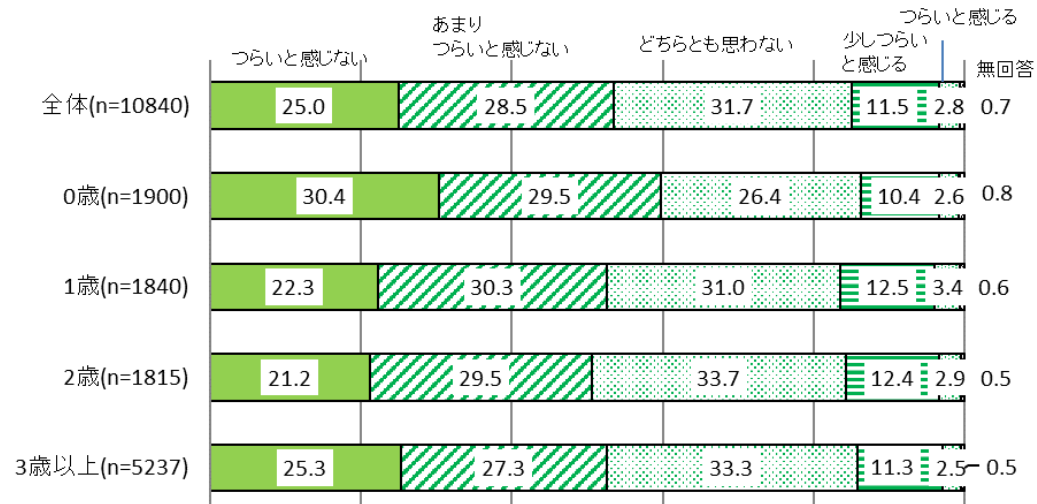


# 子育てをつらいと感じるか【問 2 8 B】

- 子育てをつらいと感じるかについては、「どちらとも思わない」が32.3%で最も多く、次いで「あまりつらいと感じない」が28.1%で、「つらいと感じない」(21.7%)と「あまりつらいと感じない」をあわせた『つらいと感じない』は49.8%となっている。
- こどもの年齢別でみると、『つらいと感じない』は0歳(53.8%)が最も高く、いずれの年齢も50%前後を占めている。
- 平成25年調査の結果に比べて、『つらいと感じない』は低くなっており、特に0歳では6.1ポイント低くなっている。

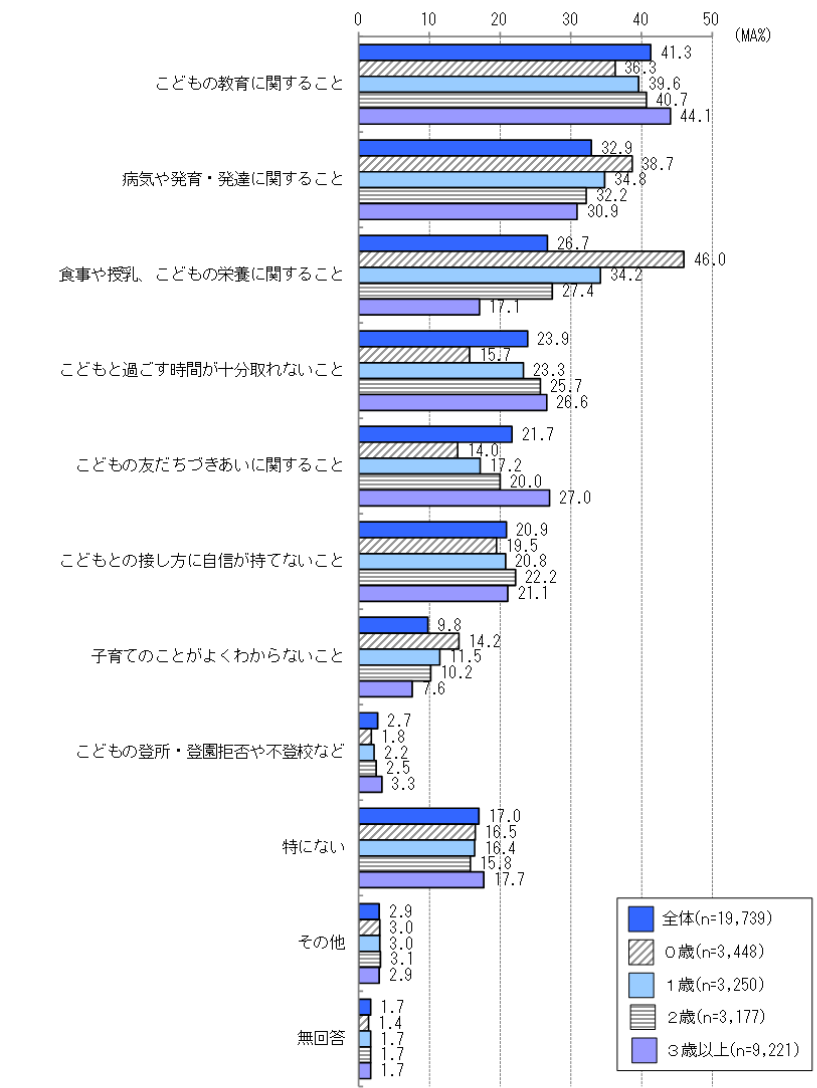


## 《参考》平成25年調査

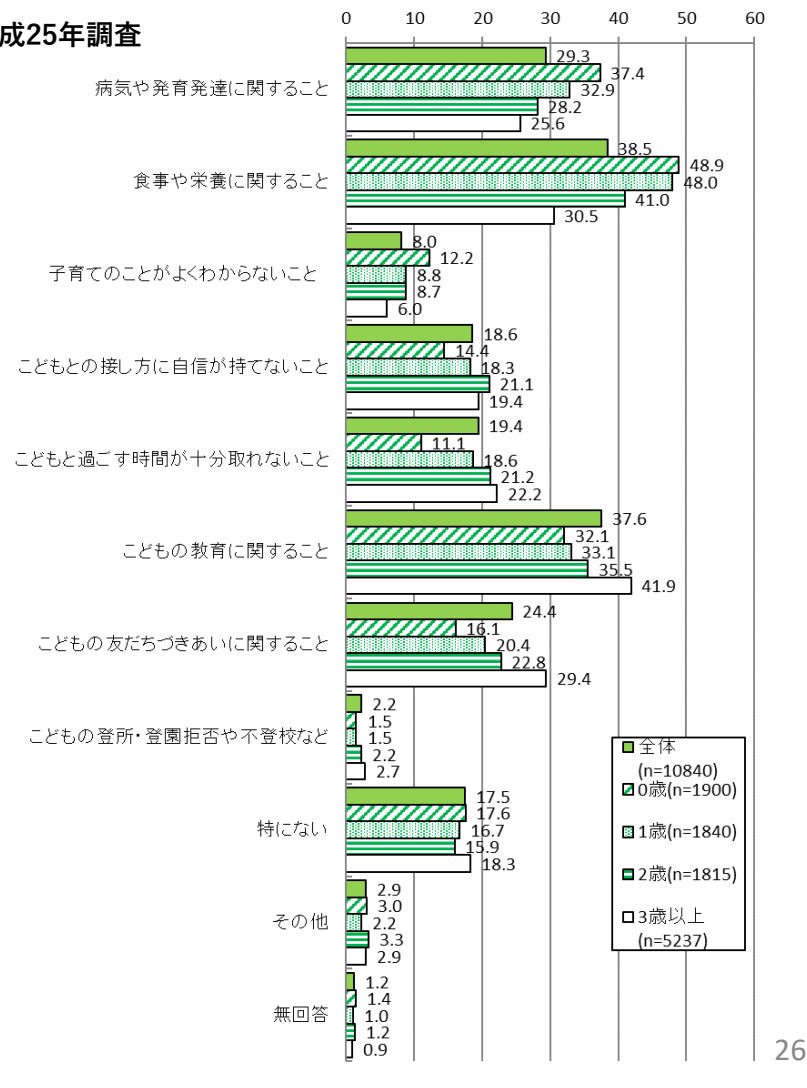


子育てに関する悩み【問29（1）】

- 子育てに関する悩みについては、「こどもの教育に関すること」が41.3%で最も多く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が32.9%、「食事や授乳、こどもの栄養に関すること」が26.7%となっている。
- こどもの年齢別でみると、0歳は「食事や授乳、こどもの栄養に関すること」が46.0%で最も多いが、1歳以上は「こどもの教育に関すること」が最も多くなっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「食事や授乳、こどもの栄養に関すること」（平成25年調査では「食事や栄養に関すること」）が11.8ポイント低くなっており、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」は4.5ポイント高くなっている。

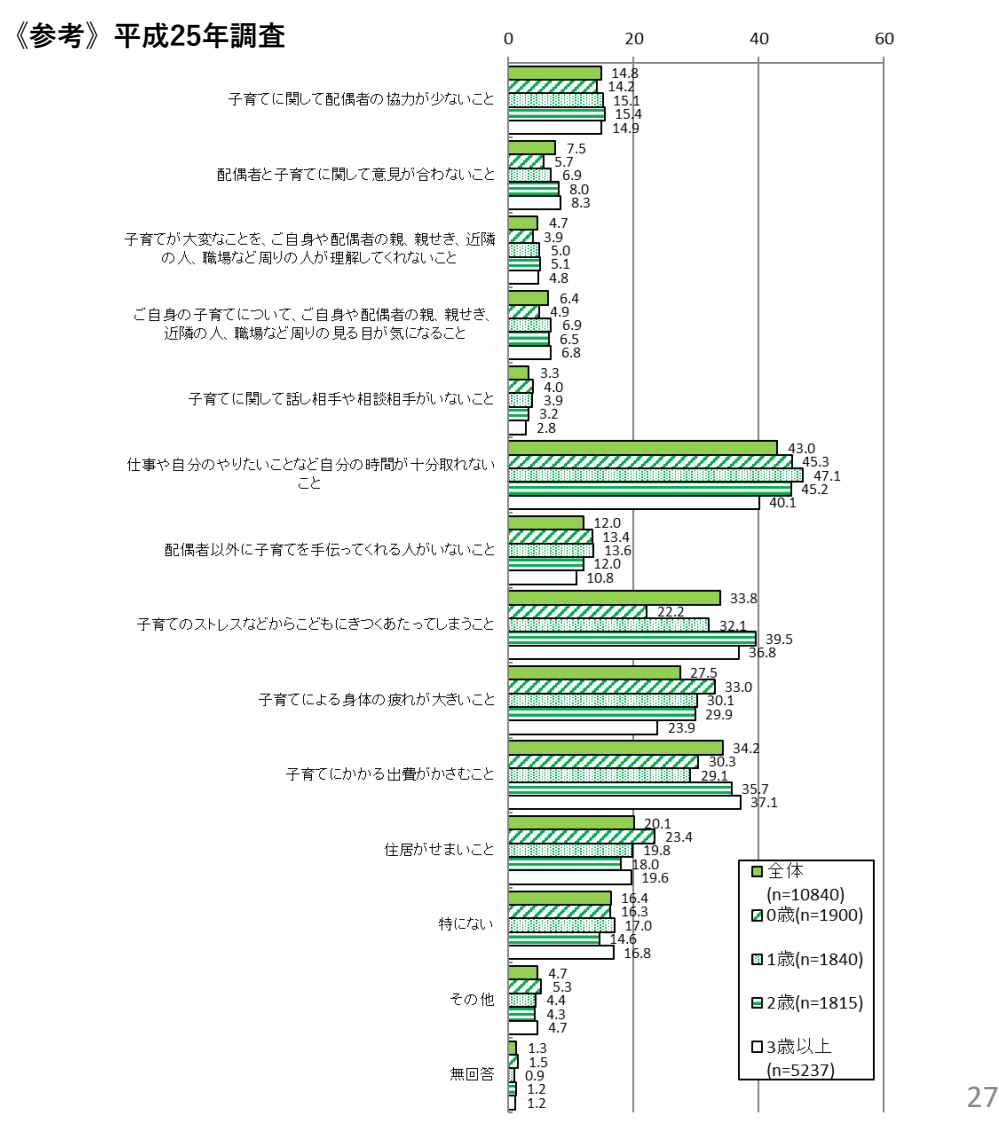
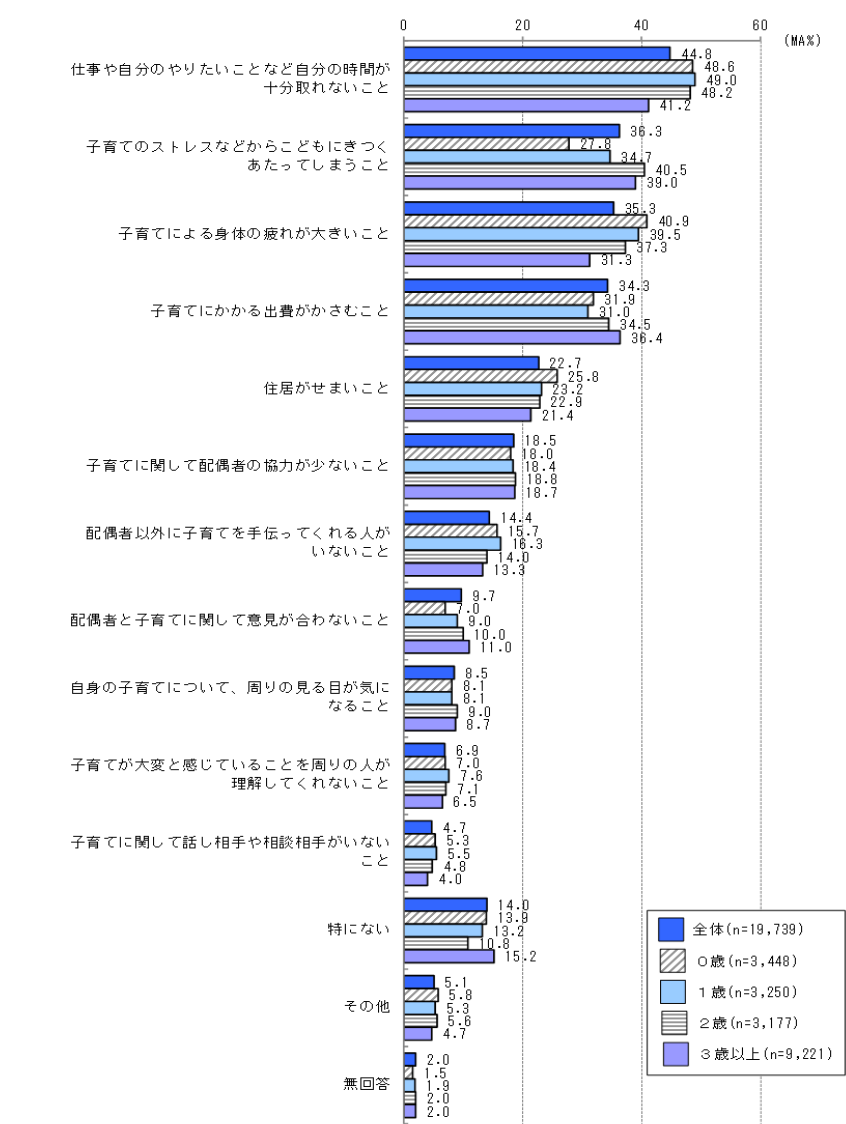


《参考》平成25年調査



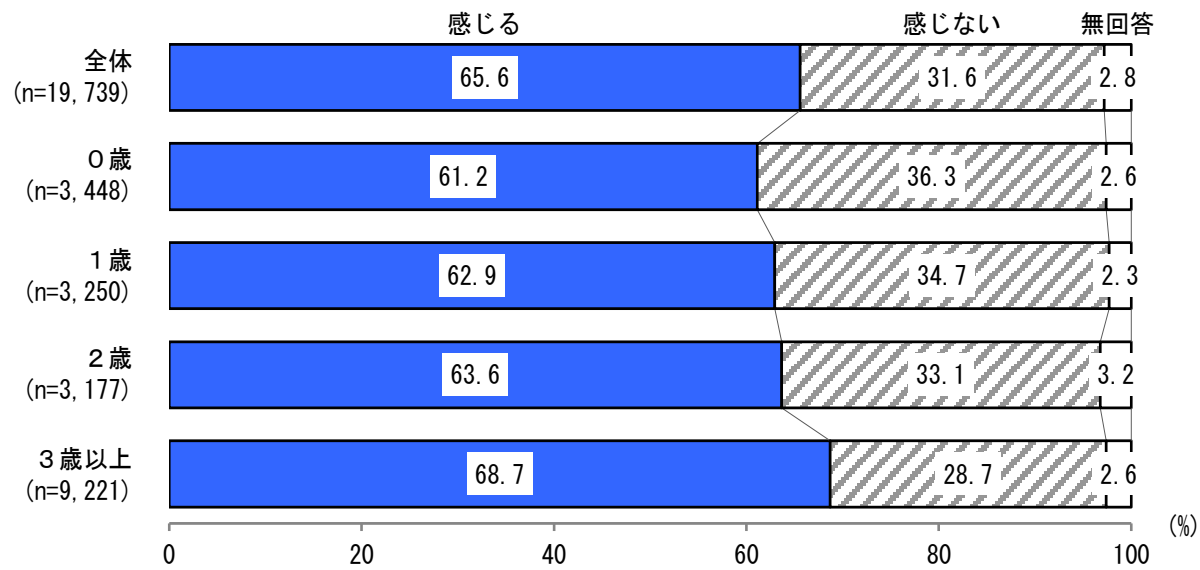
保護者自身に関する悩み【問29（2）】

- 「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が44.8%で最も多く、次いで「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が36.3%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が35.3%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」や「子育てにかかる出費がかさむこと」は2歳、3歳以上で割合が高くなっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」（7.8ポイント増）が高くなっている。

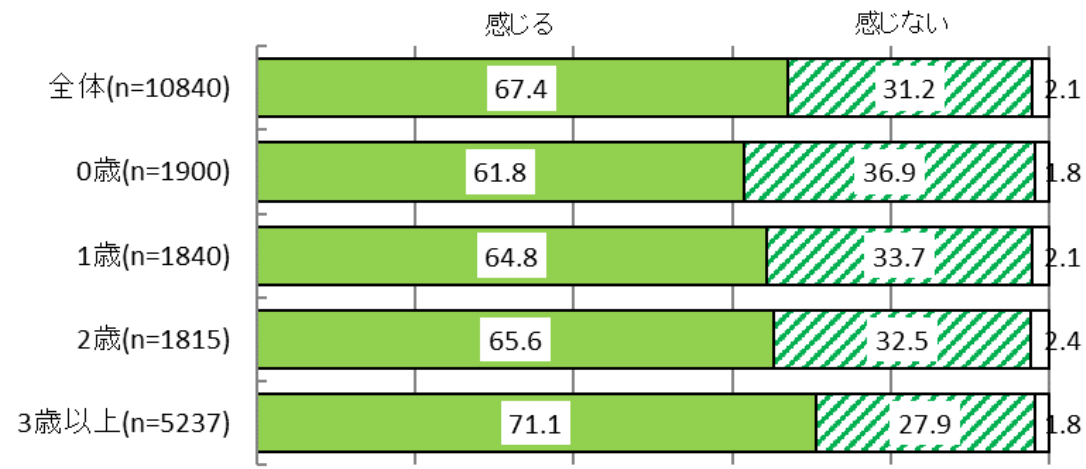


# 子育てが地域の人や社会から支えられていると感じるか【問30（1）】

- 子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかについては、「感じる」が65.6%、「感じない」が31.6%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「感じる」は年齢が上がるほど割合が高くなっている。
- 平成25年調査の結果と同様の傾向である。

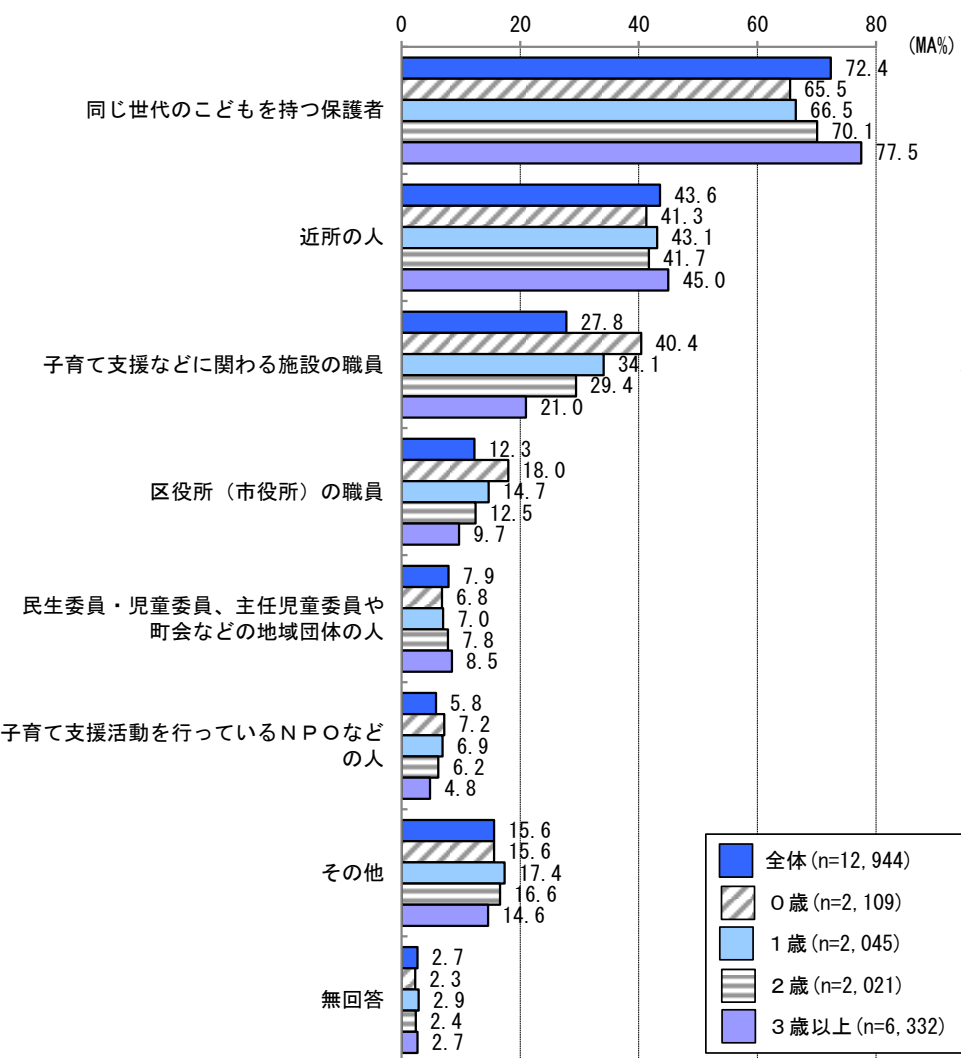


《参考》平成25年調査

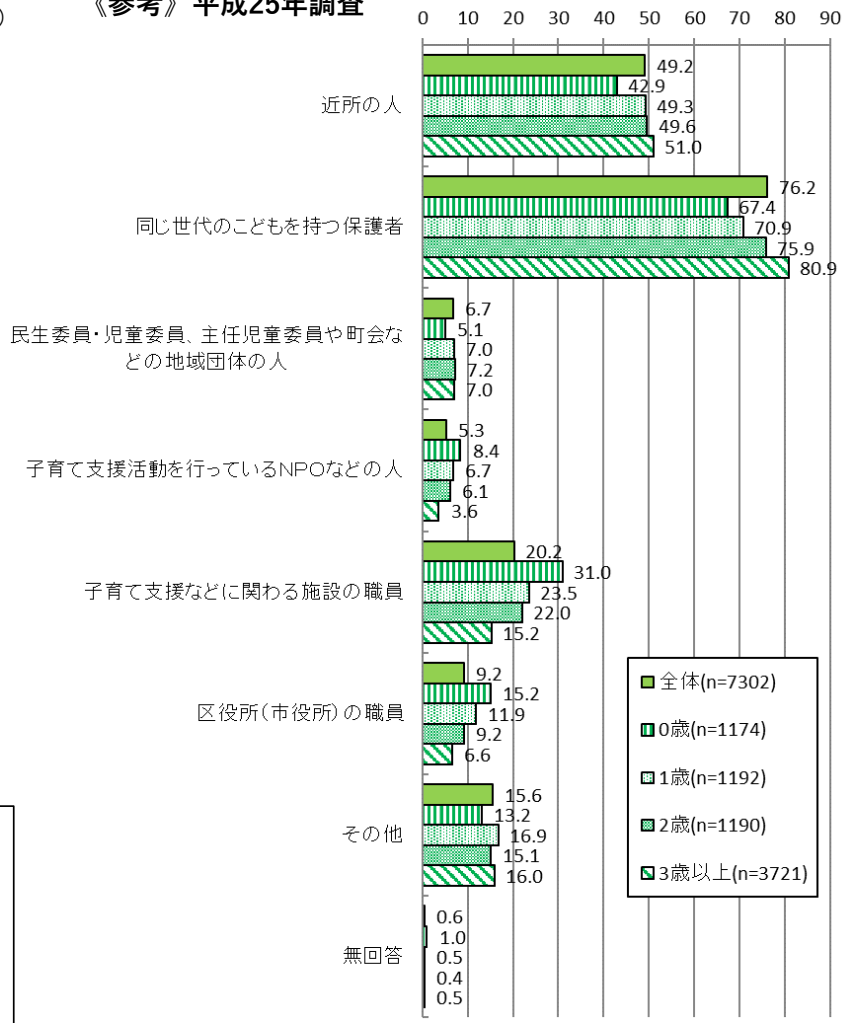


# 子育てが誰に支えられていると感じるか【問30（2）】

- 誰に支えられていると感じるかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が72.4%で最も多く、次いで「近所の人」が43.6%、「子育て支援などに関わる施設の職員」が27.8%となっている。
- こどもの年齢別でみると、いずれの年齢も「同じ世代の子どもを持つ保護者」が最も多いが、年齢が上がるほど割合が高くなっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「近所の人」（5.6ポイント減）や「同じ世代の子どもを持つ保護者」（3.8ポイント減）は低くなっており、「子育て支援などに関わる施設の職員」（7.6ポイント増）や「区役所（市役所）の職員」（3.1ポイント増）は高くなっている。

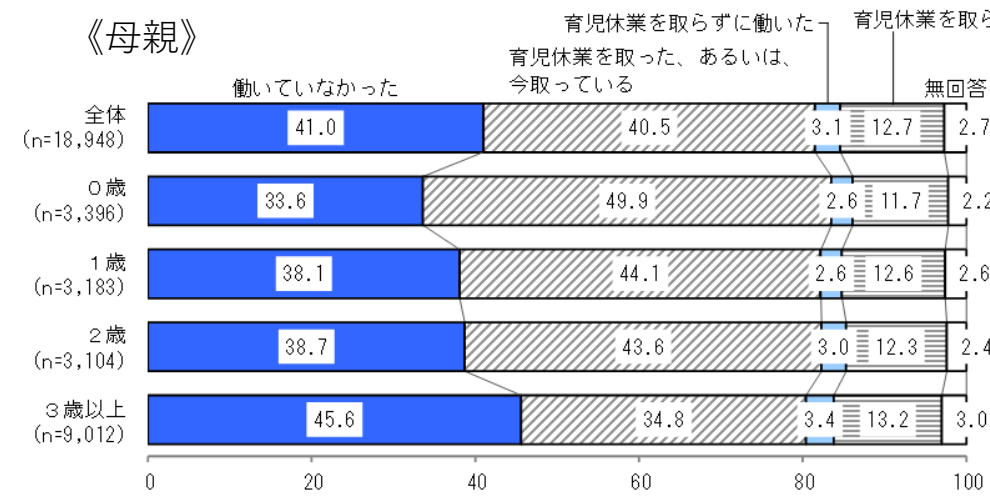


《参考》平成25年調査

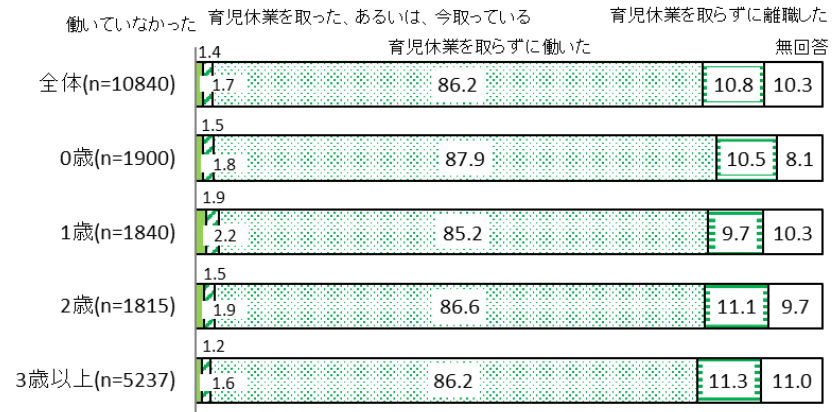
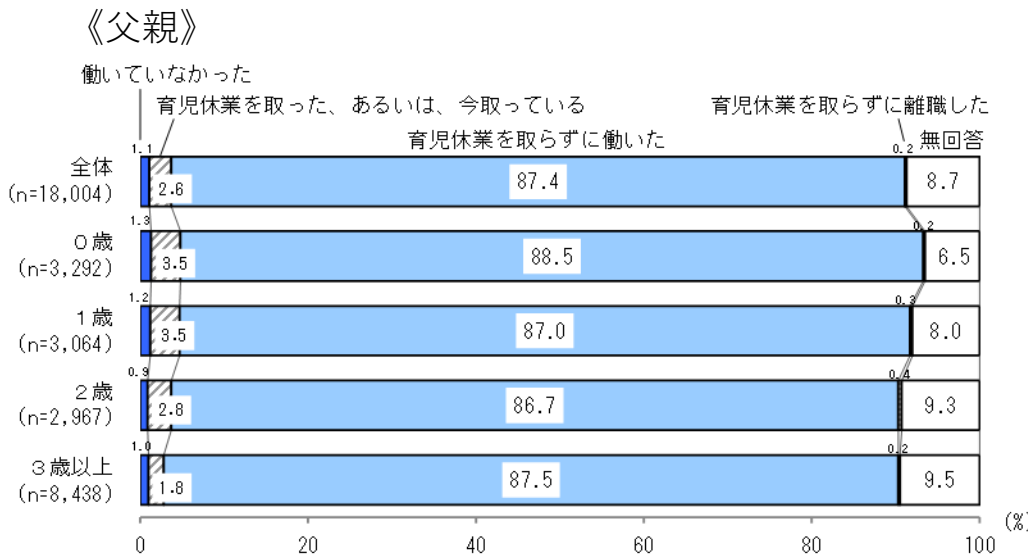
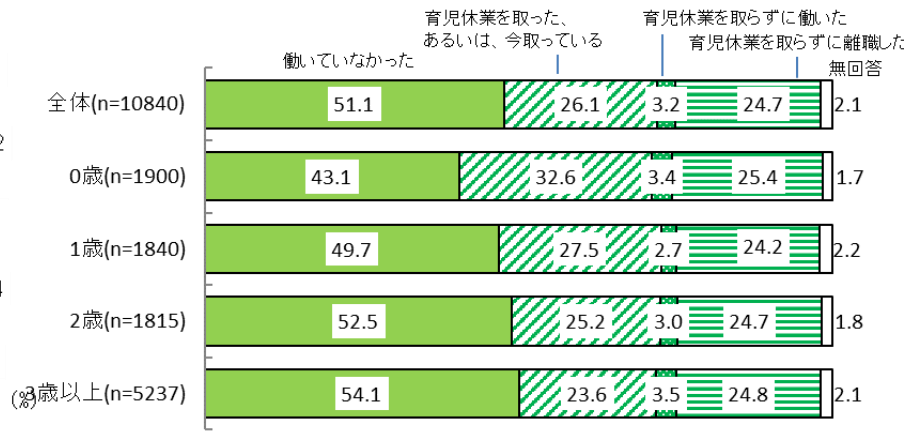


育児休業の取得状況【問 3 1】

- 母親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が41.0%で最も多く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が40.5%、「育児休業を取らずに離職した」が12.7%となっている。
- 父親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取らずに働いた」が87.4%で最も多く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が2.6%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、母親は「働いていなかった」が10.1ポイント低くなり、「育児休業を取った、あるいは今取っている」が14.4ポイント高くなっている。

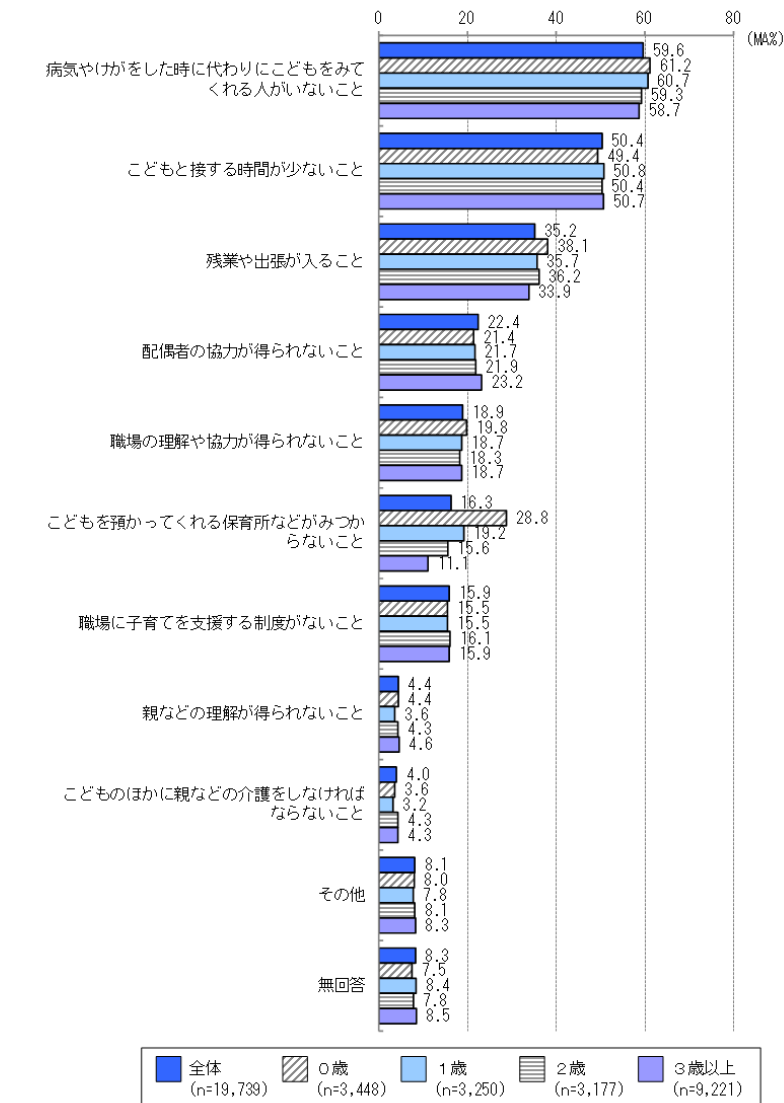


《参考》平成25年調査

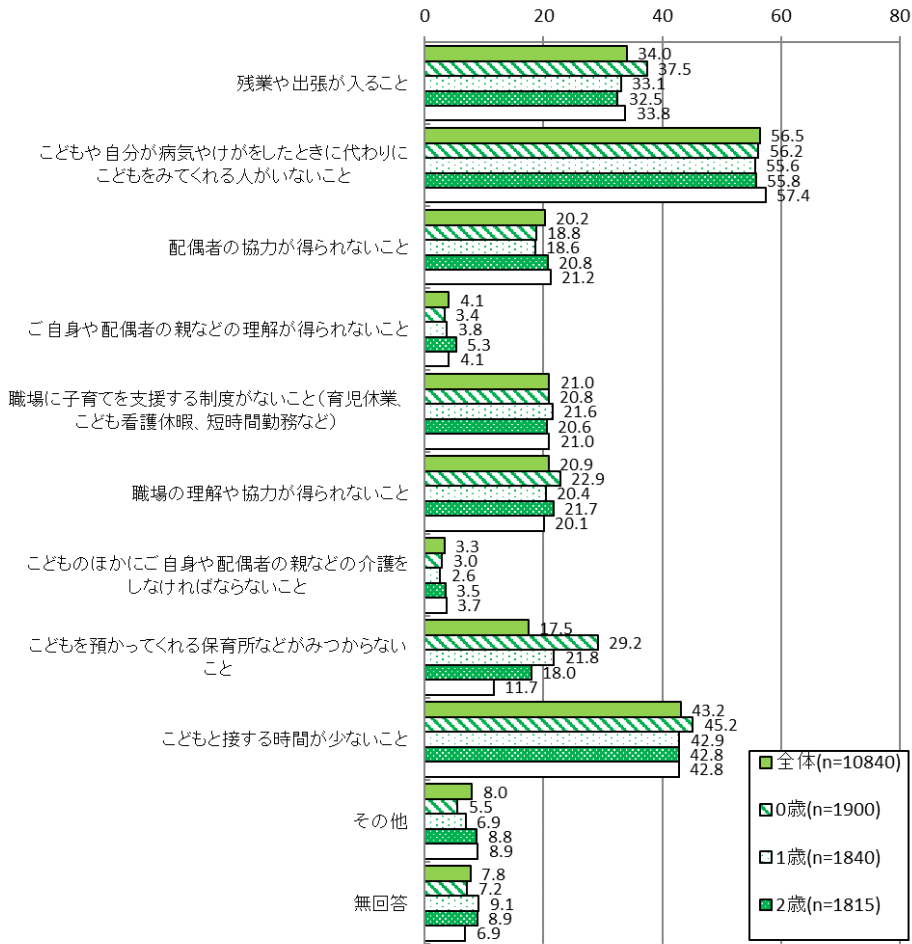


# 仕事と子育てを両立させる上で大変なこと【問34】

- 仕事と子育てを両立させる上で大変なことは、「病気やけがをした時に代わりにこどもをみてくれる人がいないこと」が59.6%で最も多く、次いで「こどもと接する時間が少ないこと」が50.4%、「残業や出張が入ること」が35.2%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「病気やけがをした時に代わりにこどもをみてくれる人がいないこと」、「こどもを預かってくれる保育所などがみつからないこと」は年齢が上がるほど割合が低くなっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「こどもと接する時間が少ないこと」が7.2ポイント高くなり、「職場に子育てを支援する制度がないこと」が5.1ポイント低くなっている。

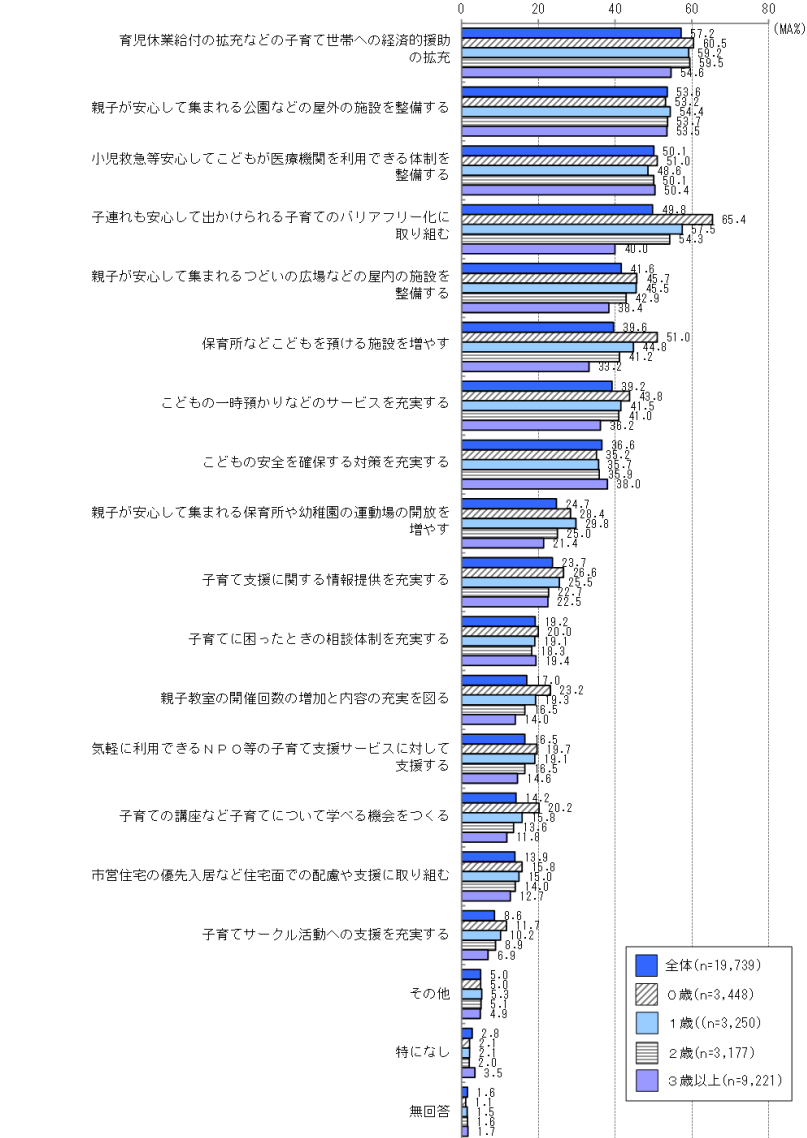


《参考》平成25年調査



市・区に対して充実してほしい子育て支援サービス【問35】

- 市・区に対して充実してほしい子育て支援サービスは、「育児休業給付の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が57.2%で最も多く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が53.6%、「小児救急等安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」が50.1%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「小児救急等安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」が8.4ポイント、「保育所などこどもを預ける施設を増やす」が7ポイント低くなっている。



《参考》平成25年調査

